

支出

種目	金額	附記
舟子給料	七二〇 ^四 〇〇	常雇月額六十四元五角分
臨時雇人料	三一八〇	舟子臨時雇人十一人一日四元五角二分内其他臨時雇人夫七人一日四元五角九分八厘
修繕費	一七九〇	渡船及渡船元着場修繕
雜費	三三〇	雜品代
元資銷却金	一八〇〇	本年度銷却金
合計	九五三〇〇	

差引金六元六角二分八厘年繰越ス

渡船收入支出決算書

自昭和三年七月一日
至昭和四年六月三十日

收入

種目	單位	價錢	収入高	附記
徒行	一人	金壹元	五四四〇	一月平均々々百三十人マ下九十四男入分
荷積小車	一輛	金叁元	八二五二	全五隻輛マ六十八輛分
荷積馬車	全	金六元	三八八八	全四百三十九輛マ五百零八輛分
人力車	全	金叁元	三六七二	全百二輛マ四百三十四輛分
自働車	全	金貳元	一六七五	全百九十八輛マ八百七十六輛分
自働自転車	全	金叁元	二六二八	全七十三輛マ八百七十六輛分
自働車	全	金貳元	二二四〇	全十八輛マ二百十六輛分
牛馬	一頭	金貳元	四五六	全十九頭マ二百八頭分
前年度繰越			六二〇	
合計			九四九四八	

支出

種目	金額	附記
舟子給料	七二〇円	常雇人月額六十四元五角分
臨時雇人料	三五二円	舟子臨時雇人延上八人一日二四元其地臨時雇人八人一日二四元共延金十一日二十元
修繕費	一四八円	渡船及渡船発着場修繕代
雜費	五一円	雜品代
元資銷却金	一八〇円	本年度銷却金
合計	九五五円	

差引殘金四拾六元八角二分年度繰越

1018 14890 21.1

前渡船工事費決算書 四十年分

全七款義園也

工事費決算額 但自大正四年七月一日至昭和四年六月三十日

内訳

全五款也

渡船二艘修繕費

全六款也

仮橋架橋及修繕費

全七款也

渡船発着場設備費

備考 許可期間五十年、昭和四年七月一日ヨリ昭和五年六月三十日ニ至ル

十年八期間中三付決算セラル

元資銷却決算

四年分

年次

金額

附

記

自大正十四年七月一日 至昭和元年七月一日	一八〇 〇〇	第一年銷却金
自昭和元年七月一日 至昭和二年七月一日	一八〇 〇〇	第二年銷却金
自昭和二年七月一日 至昭和三年七月一日	一八〇 〇〇	第三年銷却金
自昭和三年七月一日 至昭和四年七月一日	一八〇 〇〇	第四年銷却金
合 計	七二〇 〇〇	

議案第一號

傳染病予防委員増員一件

當組合傳染病予防委員、從前定員十八名、
一名増員十九名トスルモトス

昭和五年五月五日提出

即日原案可決

東京府西多摩郡福生村熊川村組合村長笹本半左衛門

元資銷却決算

四年分 東京府西多摩郡熊川村組合林業事務

年次	金額	附記
自大正十四年七月一日 至昭和元年六月三十日	一八〇 〇〇	第一年銷却金
自昭和元年七月一日 至昭和二年六月三十日	一八〇 〇〇	第二年銷却金
自昭和二年七月一日 至昭和三年六月三十日	一八〇 〇〇	第三年銷却金
自昭和三年七月一日 至昭和四年六月三十日	一八〇 〇〇	第四年銷却金
合 計	七二〇 〇〇	

東京府西多摩郡熊川村組合林業事務是年本半左衛門

昭和四年六月三十日 即日東京府西多摩郡熊川村組合林業事務

一、昭和十四年七月一日至昭和十五年六月三十日

熊川村組合林業事務是年本半左衛門

昭和十四年七月一日至昭和十五年六月三十日

熊川村組合林業事務是年本半左衛門

議定書

傳達病予防委員選任件

當組合傳染病予防委員任期満了後任者
左一通推薦

昭和五年五月十九日提出 即日推薦通過任

東京府西多摩郡熊川村組合村長笹本半左衛門

記

石川松太郎

石川勘三郎

林 又吉

森田幾太郎

小泉勇助

井上萬平

林野惣吉

水村清太郎

古谷治郎作

笹本指五郎

田村宗亮

清水長五郎

井上八十吉

伊東政吉

関谷三之助

森田小一

堀田喜代八

横田壽一郎

山田正禮

昭和五年第六回福生村組合會議録

一 先般事務大要

第一 昭和五年第六回福生村組合會議録

第二 昭和五年第六回福生村組合會議録

第三 昭和五年第六回福生村組合會議録

第四 昭和五年第六回福生村組合會議録

第五 昭和五年第六回福生村組合會議録

第六 昭和五年第六回福生村組合會議録

第七 昭和五年第六回福生村組合會議録

第八 昭和五年第六回福生村組合會議録

第九 昭和五年第六回福生村組合會議録

第十 昭和五年第六回福生村組合會議録

第十一 昭和五年第六回福生村組合會議録

第十二 昭和五年第六回福生村組合會議録

第十三 昭和五年第六回福生村組合會議録

第十四 昭和五年第六回福生村組合會議録

第十五 昭和五年第六回福生村組合會議録

木
山
之
亮

陳水仲

井梅子

大正十三年

井梅元子

1924
34
3
1

内
向
子
孫

新集

卷之六

書

本也

秋篠寺

本
地
主
君

沈氏子孫

張之洞

本如也

井之右衛門

飛鳥寺

石山書院

47 齊市苑

博小齋

平子

一 宗、さうぢ、いさゝく、
 長、張、
 張、
 執、
 宣、
 二

第一 眼和手要過手本總手本從手本夜手初夜手毒手定手休

木下長
白雲寺

卷一 說

聊記數言

議長中より予の隨分と稱するや予會議と稱せし落城國議

ナレ

漢長安を漢王と認むる安ありては命を福と爲し宣ふ

義孝寺土蔵
（田舎）
子安の通る
可成り広く

漢長沙太守張芝草書一收字安方一通可決了

張長壽張士仁
送人子
送命者
送命者
送命者
送命者
送命者

神定心定

第之四

[illegible]

郎悅書

永長寺安子印之通令に依りてヤウ令漢に記し之謀略同書に記す

漢長安國志云
大平書云
延命之
福云云
宣云

知之

予はつゝふふと云ふ

漢長子十之者、
范之付掃、
也、
今令一
瓶、
子安、
更、
可、
破、
了、

漢長安縣志上

破字三宣

第三輯五文選下書夜特別視下教訓回衆堂中

一長 お長 一短 お短

陽道

漢書の如く之を今之移るを今漢之之漢の爲國を漢す

張上巻張主ト思ふ所安ありて迄今も物々々宜し

牙之隨會

第一 高橋孝子（高橋孝子）のあつたところをめぐって

漢書 百說 採坤 皇之 念命 一 致 子 通 可 味 了

張世英先生詩卷

破字三十二

第13卷

一、
孫長
子長

班
流
者
焉

子十之五 (同張三) 子要ハ通欠行エト云

議長より右記の採決を令旨一致の決り
議長より提議の採決を令旨一致の決り
議長より提議の採決を令旨一致の決り
議長より提議の採決を令旨一致の決り

平時より土時

在り令旨の採決を令旨一致の決り
祝賀の会も有り

議長 議長

議長

西本庄重吉
内田信太郎
高崎 伸一
林 三郎
井梅 庄太郎
井梅 彌十郎

議長 議長 議長 議長 議長

議長 議長 議長 議長 議長

秋山之亮
古谷幸三郎
高崎 伸一
海井 重吉
井梅 庄太郎
田中 信太郎

二 福生村税特別税中数割算定一件

三 鎮川村税特別税中数割算定一件

以上三件全会一致で以下原案一通可決確定す

四 物品寄附受領一件

以上全会一致で受領ニ決す

福生 第一二・三 號

昭和五年七月一日 日發案
昭和五年七月一日 日決裁

淨書 校合

七月 日發送
往復主任

村長

助役

主任

關係書記

十 村長

此より議事完了

左記決議事項を奉り五りその外村中各戸に通知す
あつたゆゑに命令致さるゝものなり近頃は是れを
あつた通知す

記

一 祝賀会及び祝賀会特別税中数割算定一件

二 祝賀会特別税中数割算定一件

三 祝賀会特別税中数割算定一件